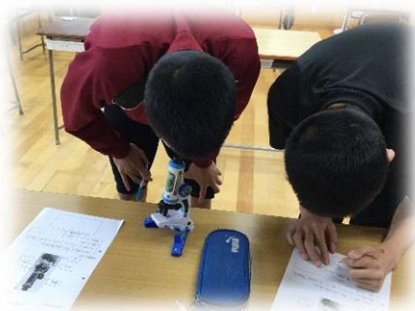


【高等部の学習の様子⑧】

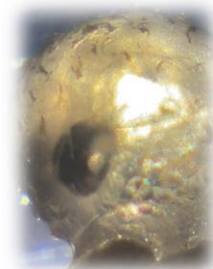
高等部の理科では、「生命」「地球・自然」「物質・エネルギー」の3つの区分を学んでいます。



現在1年生は、「生命」の区分である「メダカの誕生」について学んでいます。

この日は、今後も顕微鏡を使って観察するために、顕微鏡の部位の名称や取り扱い方を学び、実際に観察してみました。

顕微鏡でメダカの卵を観察すると、「目が見えた。」「卵のまわりに毛が生えている。」など、生徒も驚きながら気づいたことを表現していました。



今後、どのように成長していくのか予想や仮説を立てながら、変化する様子を理解していきたいと考えています。

また、卵の観察から「流れている物がある。」と血液の流れに気づく生徒もいるなど、2学年で学ぶ「人と体のつくりと働き」につながる気付きをする生徒もいました。



各学年で「理科の内容」を系統立って学び、自然を愛する心情を育てていきます。その中で、関心や意欲をもって対象と関わることによって見いだした問題を、見通しをもって追究していく過程において、生活を見直したり、学んだことを生活に当てはめてみようとしたりする態度を育てていきたいと思えます。